

### ワークショップ 3

#### 「大腸憩室出血・憩室炎・憩室関連大腸炎のマネージメント」

司会 貝瀬 満（日本医科大学消化器内科学）

永田 尚義（東京医科大学消化器内視鏡学）

大腸憩室出血や憩室炎の解決すべき課題は適切な診断・治療、発症予防、再発予防であり、外来や入院中のマネージメントが重要である。本WSでは、CTや内視鏡診断、そのタイミング、内視鏡治療、IVR/外科治療、NSAIDsや抗血栓薬の継続・中断、臨床予測モデルなど様々なマネージメントの観点から、発症、短期再発（30日）、長期再発（1年）の抑制を示す知見を広く募集する。また、大腸憩室関連大腸炎の我が国の知見は乏しく診断・治療・転帰の知見を募集し、今後の診療に有益なWSとしたい。